

第5章 各種調査結果

1 調査概要

本計画の策定にあたり、以下の調査を実施しました。

種別	目的	対象	調査時期 配付・回収方法	回収状況 (回収率)
住民 アンケート	地域別の目的別移動実態、移動サービスに対する満足度や改善ニーズ、利用意向等を把握。	町内の1,500世帯 (1世帯に2部配付)	2018年8・9月 郵送配付 郵送回収	794部 (26.5%)
利用者 アンケート	利用者の満足度や細かな改善ニーズを把握。	町内完結路線バス・デマンド型乗合タクシー(10路線)及び六日市線の小・中学生を除く全乗客	2018年10月 手渡し配付 郵送回収	81部
六日市病院 アンケート	通院者の移動実態や公共交通に関する意見・要望を把握。	六日市病院の通院者、付き添いやお見舞いによる来院者	2018年12月 (平日1日) 待合スペースにおいて、ヒアリング形式で実施	78部
民生委員 アンケート	移動制約者等の移動実態や細かな問題点等を把握。	町内の民生委員40名	2018年10・11月 手渡し配付 郵送回収	23部 (57.5%)
関係者 ヒアリング	通院や買物、通学などでの公共交通利用に向けたニーズや課題を把握。	交通事業者(5)、病院(1)、商業施設(4)、学校(2)、行政(3)、観光(1)	2018年11・12月	—
乗降調査	停留所毎の利用実態や利用者属性の実態を把握。	広益線、広域線、六日市線、蔵木線、六七線、蓼野線、高尻線、吉賀町スクールバス(椋谷線、木部谷大野原線)	広益線、広域線：2018年9月(平日、土曜各1日) 六日市線：2018年7月(2週間) その他：2018年9・10月(2週間)	—
住民意見交換会	各地区を運行する路線のうち、デマンド便の運行形態、便数、ダイヤ、移動目的地、公共交通を残すためにできることについてワークショップ形式で意見交換を実施。	協議会委員(住民代表)、地域支え合い会議委員、上記以外の住民代表、社会福祉協議会、一般市民 (5地区で実施)	2018年7月 (各地区1回実施)	[参加人数] 蔵木 22人 六日市 18人 朝倉 21人 七日市 20人 柿木村 23人
ふれあいサロンヒアリング	路線バス・タクシーの利用状況、利用しない理由、勉強会の参加意向、自治会輸送の実施意向、問題点などをヒアリング形式で把握。	ふれあいサロンの参加者(35か所のうち13か所で実施)	2018年6～8月	[参加人数] 計 154人 ※各5～21人参加)

2 調査結果のまとめ

【住民アンケート調査】

- ・ **運転免許** | 80.8%が自動車運転免許を保有し、14.6%が運転能力の低下を実感しているが返納できないと思っている。
- ・ **通勤・通学** | 公共交通を利用する人は5.3%で86.4%が自家用車を利用。
- ・ **買物** | 柿木地区の人は六日市地区の店に買い物に行く人が多い。全体ではサンマート六日市店に行く人が最も多く、公共交通を利用する人は4%未満。
- ・ **通院** | 六日市地区から柿木地区に通院する人もいる。全体では六日市病院に行く人が最も多く、公共交通を利用する人は15%未満。
- ・ **公共交通の利用** | 町内完結路線バスを全く利用しない人は95.5%。デマンドバスは94.9%。利用しない主な理由は自家用車やバイクを運転できるため。
- ・ **改善要望（広益線・広域線）** | 「運行本数(平日)を増やす」、「運賃を安くする」、「運行本数(土日)を増やす」の順に多い。サービス改善後に運転できなくなったら利用する人は55.1%。
- ・ **改善要望（町内完結路線バス・デマンド型乗合タクシー）** | 「運行本数(平日)を増やす」、「自宅付近で乗り降りできるようにする」、「運賃を安くする」の順に多い。サービス改善後に運転できなくなったら利用する人は61.2%。

【利用者アンケート調査（町内完結路線バス・デマンド型乗合タクシー）】

- ・ **利用者の属性** | 女性が83.3%、70歳以上が89.9%、運転免許非保有者が100%。
- ・ **利用目的** | 通院、買物で利用する人が多い。一部の路線は高校生が通学で利用。
- ・ **目的地** | 通院は六日市病院、買物はサンマート六日市店が最も多い。その他、町内の施設が目的地となっている。
- ・ **利用頻度** | 週に3日以下の人が88.9%。
- ・ **改善要望（六日市地域）** | 「運行本数（平日）を増やす」、「便数（土日）を増やす」、「自宅付近で乗り降りできるようにする」の順に多い。
- ・ **改善要望（柿木村地域）** | 「運行本数（平日）を増やす」、「時間帯（ダイヤ）を改善する」の順に多い。
- ・ **満足度** | 79.6%が「満足」、「やや満足」と感じている。

【利用者アンケート調査（六日市線）】

- ・ **利用者の属性** | 吉賀町民が12.5%、女性が87.5%、70歳以上が81.3%、運転免許非保有者が93.8%。
- ・ **利用目的** | 通院、買物で利用する人が多い。通学利用者はなし。
- ・ **目的地** | 通院は六日市病院、買物はサンマート六日市店が最も多い。
- ・ **改善要望** | 「運行本数（土日）を増やす」、「運行時間（ダイヤ）を改善する」、「運行本数（平日）を増やす」の順に多い。
- ・ **満足度** | 84.2%が「満足」、「やや満足」と感じている。

【六日市病院アンケート調査】

- ・ **来院時間** | 8～10 時台に来院する人が多く、10～12 時台に帰る人が多い。
- ・ **交通手段** | 自家用車で来院する人は約 6 割、家族による送迎は約 1 割。
- ・ **他施設への立ち寄り** | 65.2%が他の施設に立ち寄り、9 割以上が六日市の買物施設に立ち寄る。
- ・ **路線バスでの行き方の認知** | 34.2%がダイヤやデマンドバスの利用方法を知らない。17.8%が路線バスで行けること自体を知らない。
- ・ **改善要望** | 「運行本数を増やす」、「自宅付近で乗り降りできるようにする」、「運行時間（ダイヤ）を改善する」の順に多い。サービス改善後に運転できなくなったら利用する人は 46.5%。

【民生委員アンケート調査】

- ・ **バス等を利用する必要がある人** | 六日市地域 78 人、柿木村地域 46 人。
- ・ **移動に関するこれまでの相談件数** | 六日市地域 20 件、柿木村地域 11 件。乗りたい時間帯にバスが運行しておらず、移動が不便であることに関する相談が多い。
- ・ **バス等を利用する必要がある人が普段利用する施設** | 商業施設は七日市地区以外の地区でサンマート六日市店という回答が多く、医療施設は全地区で六日市病院という回答が多い。
- ・ **住民・民生委員からの意見・要望等** | 六日市：タクシーを利用すると運賃が高い。通院時間にダイヤがあっていない。朝倉：バスを利用する場合は、少量の荷物しか持てない。高齢化に伴い自宅前の送迎が重要。七日市：自宅前までバスが入ればいい。料金の経済的負担が大きい。病院に行きやすくなるように便が増えればいい。柿木村：広益線の経路変更により不便になった。タクシーを利用すると運賃が高い。町外の移動が必須のため高齢者運賃割引制度を導入してほしい。広益線・広域線を 1 時間に 1 本運行してほしい（乗継の待ち時間が長い）。

【関係者ヒアリング】 ※認識する問題点・課題を整理

- ・ **交通事業者** | バスの運転手不足や運転手の高齢化、利用者の減少が課題。タクシー事業は赤字であり、事業継続が困難な状況。柿木停留所の待合環境が悪く、広益線とデマンド型乗合タクシーの接続が悪い。
 - ・ **病院** | 岩国市（錦町）からの通院利便性向上が課題。
 - ・ **商業施設** | 個人農家の高齢化により集荷は課題だが人員と車両が確保できない。「柿木商工会館前」停留所の待合環境の改善が必要。
 - ・ **学校** | 益田市からの通学利便性向上のため、JR 山口線と広域線の乗継改善。留学生への利用方法の周知。
 - ・ **行政** | 関係部局間で協議できる組織体制がなく、公共交通に関する情報提供や利用促進において行政間の連携が不十分。
 - ・ **観光** | 既存の観光マップにバスに関する情報が掲載されていない。
-

【乗降調査：広益線】 ※調査対象は吉賀町内の停留所で乗車または降車した人

- ・ 利用者数 | ㊦119人、㊧60人
- ・ 属性 | 高校生㊦33.6%㊧28.3%、一般㊦49.6%㊧60.0%、高齢者㊦16.8%㊧11.7%
- ・ 利用目的 | 通学㊦32.8%㊧33.3%、通勤㊦5.0%㊧0.0%、買物㊦10.1%㊧6.7%、通院㊦15.1%㊧8.3%、その他㊦37.8%㊧48.3% ※複数回答可
⇒高校生が通学で利用。一般・高齢者はその他の目的で利用する人が多い。
- ・ 移動状況 | 吉賀町内㊦36.1%㊧23.3%、吉賀町・広島市間㊦41.2%㊧51.7%、吉賀町・益田市間㊦16.0%㊧16.7%、吉賀町・津和野町間㊦6.7%㊧8.3%
⇒広島市への移動に利用する人が多い。
- ・ 利用の多い停留所（平日上位3位） | 六日市㊦64人、七日市㊦54人、立戸㊦13人
⇒七日市と六日市間、六日市と広島間での利用が多い。

【乗降調査：広域線】

- ・ 利用者数 | ㊦35人、㊧8人
- ・ 属性 | 小・中学生㊦34.3%㊧0.0%、高校生㊦25.7%㊧75.0%、一般㊦28.6%㊧0.0%、高齢者㊦11.4%㊧25.0%
- ・ 利用目的 | 通学㊦65.7%㊧75.0%、通勤㊦17.1%㊧0.0%、買物㊦0.0%㊧12.5%、通院㊦17.1%㊧0.0%、その他㊦2.9%㊧25.0% ※複数回答可
⇒小・中・高校生の通学利用者が多い。一般・高齢者は通勤・通院・買物で利用。
- ・ 移動状況 | 吉賀町内㊦71.0%㊧62.5%、吉賀町・津和野町間㊦29.0%㊧37.5%
⇒吉賀町内の移動で利用する人が多い。日原駅の乗降者は平日2名のみ。
- ・ 利用の多い停留所（平日上位3位） | 柿木㊦13人、下七日市㊦10人、六日市病院㊦8人
⇒小学生は柿木地区内の通学で利用している。一般は柿木と六日市病院間での利用が多い。

【乗降調査：六日市線】

- ・ 利用者数（平均） | ㊦7.1人、㊧3.0人、㊨0.0人
⇒調査期間中、全く利用されていない便があった。
- ・ 利用区間 | 吉賀町内で乗車または降車：25.0%、岩国市内で乗車または降車：75.0%
⇒岩国市内の移動や吉賀町（主に六日市駅）と岩国市間の移動に利用されており、吉賀町内の移動にはほとんど利用されていない。
- ・ 利用の多い停留所（平日上位3位） | 六日市駅㊦2.8人、錦中央病院前㊦2.7人、錦総合支所・稗原㊦1.5人

㊦は平日、㊧は土曜日、㊨は日曜日の略

【乗降調査：蔵木線】

- ・ 利用者数（平均） | ㊦12.8人、㊧2.5人
- ・ 属性 | 小・中学生㊦2.3%㊧0.0%、一般㊦97.7%㊧100.0%
⇒スクール便が通学にほとんど利用されていない。
- ・ 利用の多い停留所（平日上位3位） | 下七日市㊦15.0人、六日市駅㊦7.5人、六日市病院㊦6.4人 ※六七線を含む
⇒六日市方面行きは六七線と接続しているため、大半が下七日市で下車しており、高校生が吉賀高校への通学で利用している。

【乗降調査：六七線】

- ・ 利用者数（平均） | ㊦11.2人、㊧0.0人
- ・ 属性 | 小・中学生㊦0.0%、一般㊦100.0%
⇒七日市方面行きは蔵木線と接続しているため、大半が下七日市で下車しており、高校生が吉賀高校への通学で利用している。

【乗降調査：蓼野線】

- ・ 利用者数（平均） | ㊦20.8人、㊧4.5人
- ・ 属性 | 小・中学生㊦19.7%㊧0.0%、一般㊦80.3%㊧100.0%
⇒六日市小学校の児童が帰宅時に利用している。
- ・ 利用の多い停留所（平日上位3位） | 六日市病院㊦8.4人、六日市駅㊦5.1人、下七日市㊦4.9人
⇒ゆらら方面行きは下七日市と六日市駅・六日市病院間での利用が多い。国重橋方面行きは六日市病院から各地への帰り便として利用されている。

【乗降調査：高尻線】

- ・ 属性 | 小・中学生㊦29.3%㊧0.0%、一般㊦70.7%㊧100.0%
⇒七日市小学校の児童が通学及び帰宅時に利用している。
- ・ 利用の多い停留所（平日上位3位） | 下七日市㊦25.1人、六日市病院㊦10.7人、六日市駅㊦10.5人
⇒下七日市で乗車及び降車する人が多く、六日市と下七日市間、下七日市と高尻間で利用されている。

㊦は平日、㊧は土曜日

【住民意見交換会】

- ・ **運行形態** | 蔵木、六日市地区は、デマンド運行（区域運行）とタクシー定期の要望が多く、七日市、朝倉地区は、これらに加え、現状維持の意見があった。柿木地区は、現状維持、タクシー定期、タクシー助成の意見があった。
- ・ **運行頻度** | 各地区とも、毎日運行や隔日運行それぞれの意見が出された。毎日運行すれば安心して予定が立てやすいという理由が多く、隔日運行は、便数が多い方がいいという理由が多かった。
- ・ **ダイヤ** | 各地区とも、少なくとも午前中に 1 往復できるダイヤがあったほうがいいという意見が多く、広域路線との乗継に配慮したダイヤ設定の要望も出された。
- ・ **利用者・利用目的** | 各地区とも、高齢者や運転免許を保有していない人が買物や通院で利用するという意見が多く、他には学生の通学利用や、娯楽、金融機関、役場等に行くために利用するという意見があった。
- ・ **公共交通を残すためのアイデア** | 元気な時からバスを利用する、利用方法を周知する、ツアー・イベントの企画、教育機関・交通事業者・商業施設・企業との連携、通勤利用、乗車体験、予約代行、乗降介助、ボランティア輸送等の意見が出された。



図表-34 ワークショップの様子